

Fusyo Collaboration letter



11月1日 No.22 文責 廣田 秀俊

目標を持って活動すること 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間。この学習は国語や算数と同じように、3年生以上の授業の時間として行われているものです。

総合的な学習の時間の目標として、『探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えさせていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す』と掲げられています。

その育成の姿として三つの事柄があげられます。

- (1) 知識・技能を身に付け、探究的な学習を理解する
- (2) 課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する
- (3) 互いのよさを生かしながら、主体的・協働的に取り組み、社会に参画する

総合的な学習の時間は教科書がありません。そのためどんな事柄に出合わせ、どのような憧れや可能性を持つのか、そのうえで課題を自分ごとにしていくことが大切になってきます。

今年度の3年生以上の探究する項目は学年や学級の取り組みで方向づいています。

3年生:生活の発展 紙技チャレンジ 身近なもので紙づくり

4年生:①大分市の魅力を伝える(伝統文化)

②ゴミの再利用(自然環境を守る)

③食品ロスを減らす

5年生:①地域に暮らす外国人(多文化共生)

②地域の農業・生産者(大分の味力)

③海の豊かさを守ろう(環境問題)

6年生:防災のための安全・安心なまちづくり

これらの事柄を探究するため、課題づくりにも多くの時間を費やし、学年や学級でテーマを決め、物事の本質を探って見極めようとしています。

それぞれの学習の時間にゲストティーチャーをお迎えして学びを深めたり、体験活動からさらに深くテーマに迫っていかうしたり、様々な視点をもって学びに向かっています

1. 課題の設定 2. 情報の収集 3. 整理・分析 4. まとめ・表現。この活動を繰り返し行いながら、自分たちの課題解決のために収集した情報を整理し、自分の考えや新たな課題を自覚して、日々の生活へ結びつけています。この事柄は学校教育目標にもつながっています。